

「肥満症患者における副腎偶発腫に関する検討」

本研究へのご協力をお願い

研究責任者：国立病院機構京都医療センター 内分泌・代謝内科

難波多挙

近年、CTなどの画像検査の普及により、本来の検査目的とは異なり、偶然病変が見つかることがあります。副腎は生命の維持に必要なホルモンを複数作っている重要な臓器ですが、画像検査で偶然、副腎に腫瘍が見つかることがあります。そのような副腎腫瘍を副腎偶発腫と呼びます。副腎から分泌されるホルモンは様々な作用があり、量が多すぎると高血圧や血糖値の上昇、体重増加（肥満）などを来し、副腎腫瘍がそれらのホルモンを過剰に分泌することがあります。また、稀に悪性の副腎腫瘍もあります。当院では肥満症の患者さんのうち、どのくらいの方で副腎偶発腫が見られるか、さらにその特徴について研究を行っています。本研究により肥満症患者さんの診療水準の向上が期待されます。そのため、肥満症の方でこれまでに画像検査を受けておられるかたに本研究へのご協力をお願い申し上げます。

【研究目的】

肥満症患者さんにおける副腎偶発腫の頻度とその特徴を明らかにすることを目的としています。

【対象となる患者さん】

京都医療センター 肥満症・メタボリックシンドローム外来に通院されている患者さん。

【利用させていただく診療情報】

カルテに記載されている診療の一環で行われた検査結果（採血検査、尿検査、画像検査など）や診療情報を使用させていただきます。

【個人情報につきまして】

本研究で得られた成果を学会や研究会、論文などで発表することがありますが、個人が特定できるような情報は厳重に管理され、公開されることはありません。

【留意事項】

本研究は既に通常の診療で得られた情報を利用する研究です。新たに患者さんに検査や質問を追加して行うことはありません。本研究に関してご質問がある方や本研究への協力を希望されない方は、お手数をおかけして申し訳ありませんが、平日の9時から17時までの間にご下記までご連絡をお願い申し上げます。なお、本研究に協力を希望されない場合も診療上の不利益をこうむることは一切ありません。本研究は国立病院機構京都医療センターの倫理委員会の承認を得て行っております。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【問合わせ先】

〒612-8555 京都府京都市伏見区深草向畑 1-1

国立病院機構京都医療センター 内分泌・代謝内科 難波多挙

電話：075-641-9161(代表)